

事 務 連 絡  
令和 5 年 3 月 8 日

地域公共交通確保維持改善事業  
実施協議会 各位

北陸信越運輸局

交通政策部交通企画課長  
交通政策部バリアフリー推進課長  
自動車交通部旅客課長  
海事部海事産業課長

地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価について（通知）

貴協議会から提出のありました地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価（自己評価）を踏まえて、別紙のとおり事業評価（二次評価）を行いましたので通知します。あわせて、以下のとおり周知いたしますので、適切にご対応願います。

- 貴協議会において事業評価（自己評価及び二次評価）の結果を踏まえて再度検討し、当該検討結果を今後策定する生活交通確保維持改善計画に適切に反映した上で、同計画を策定すること。その際、地域公共交通確保維持改善事業の地域間幹線系統確保維持費国庫補助金及び地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金に係る同計画については、「地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統確保維持費国庫補助金及び地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）の事業評価について（平成 29 年 7 月 6 日付け国総支第 26 号、国自旅第 74 号）」に留意すること。
- 毎年度の事業評価（自己評価）の結果の公表については、「地域公共交通確保維持改善事業実施要領（平成 23 年 4 月 1 日付け国総計第 5 号、国鉄財第 4 号、国鉄業第 4 号、国自旅第 20 号、国海内第 8 号、国空環第 5 号）」に基づき、遺漏のないようにすること。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年3月8日

北陸信越運輸局

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
長野市公共交通活性化・再生協議会	長野市	中条線 中条支所～ 中条地区～ 中条支所	支所、地区役員等に利用状況等を説明するとともに、案内チラシの配布などの利用促進を依頼した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	C 令和6年度まで2,000人以上確保する目標に対し、令和4年度実績は1,413人であった。達成できなかった理由として、新型コロナウイルス感染拡大が収束していないことや、当該地区の人口がこの5年間で17%減少したことによる路線沿線人口の減少の影響が考えられる。	地区人口の減少に対しては、地域公共交通計画に基づき利用実態データ等見直し基準となるデータを整理し、地域住民と情報を共有し、適切な運行方法、運行経路、運行便数(時間帯)を地域住民と検討する。新型コロナウイルス感染症への対応は、引き続き感染拡大防止に尽力する。また、利用者を増加させ目標値を達成できるように、地区役員等と連携しながら利用促進を図る。	協議会における事業評価結果の④及び⑤については自己評価のとおりである。なお、③の前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況については、前年度の事業評価結果(⑥の事業の今後の改善点や地方運輸局等における二次評価結果など)の反映が十分ではないと考えられることから、これらの記載を踏まえた改善を行っていくことが必要である。その上で、実績向上に向けて具体的な改善策について引き続き検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
長野市公共交通活性化・再生協議会	アルピコタクシー株式会社	篠ノ井共和線 川中島駅～Aコープ・篠ノ井店～篠ノ井病院前	利用状況の改善に向けて運行時刻を見直す方向で検討を進めている。また、支所、地区役員等に利用状況等を説明するとともに、案内チラシの配布などの利用促進を依頼した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	C 令和6年度まで1,700人以上確保する目標に対し、令和4年度実績は1,323人であった。当該地区の人口がこの5年間で6%減少したことによる路線沿線人口が減少したこと、利用者属性が変化することが考えられる。	地域公共交通計画に基づき利用実態データ等見直し基準となるデータを整理した後、地域住民とデータを共有し、適切な運行方法、目的施設の利用時間帯を確認し、運行ダイヤ等を地域住民と検討する。新型コロナウイルス感染症への対応は、引き続き感染拡大防止に尽力する。また、利用者を増加させ目標値を達成できるように、地区役員等と連携しながら利用促進を図る。	協議会における事業評価結果の③から⑥までについては自己評価のとおりであり、実績向上に向けて具体的な改善策について引き続き検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
長野市公共交通活性化・再生協議会	アルピコタクシー株式会社	安茂里線 安茂里駅～ 安茂里支所～ 長野ターミナル	支所、地区役員等に利用状況等を説明するとともに、案内チラシの配布などの利用促進を依頼した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	C 令和6年度まで3,800人以上確保する目標に対し、令和4年度実績は3,275人であった。当該地区の人口がこの5年間で5%減少したことによる路線沿線人口が減少したこと、利用者属性が変化することが考えられる。	地域公共交通計画に基づき利用実態データ等見直し基準となるデータを整理した後、地域住民とデータを共有し、適切な運行方法、目的施設の利用時間帯を確認し、運行ダイヤ等を地域住民と検討する。新型コロナウイルス感染症への対応は、引き続き感染拡大防止に尽力する。また、利用者を増加させ目標値を達成できるように、地区役員等と連携しながら利用促進を図る。	協議会における事業評価結果の③から⑥までについては自己評価のとおりであり、実績向上に向けて具体的な改善策について引き続き検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。